ずっと住み続けたいまち

私の向日市

秋市長を囲んで

市政モニター座談会

のまちを考える」と題して、2月15日市政モ
長との座談会を開催しました。
4月から委嘱された第4期市政モニターは、
設見学、グループ討議など、2年間活発な活
られました。
は、市政モニターを代表して3人の方にお集
き、市長を交えて、住みよいまちづくりにつ
合っていただきました。

市民参加は モニター創設の原点

市長　本日は、市政モニターのグループの代表のみなさん方と座談の場を持たせていただきましたところ、ご多忙の中ご出席をいただきましてありがとうございます。

市政モニター制度は、一人でも多くの市民の方々に市政を理解していただくということと、身近な生活の中からの生の声をお聞きするため、また市民相互の話しあいの場を提供するため設けた制度です。

皆さん方は、市政モニターになっていただきまして施設見学や学習活動等を通じて、市政について理解をしていただき、また何かとお気づきのこともあったことと存じます。皆さん方の声を充分聞かせていただき市政に生かしていきたいと考えております。どうか、よろしくお願いいたします

市政が身近に感じられてきた

――市政モニターになられて、どのような感想をお持ちでしょうか。

松田　今までは、向日市に在住しているに過ぎなかったのが、モニターになって、非常に市政が身近なものに感じられるようになり、いろんなことに前向きに関わるようになりました。それは、とってもいいことだったと思います。

酒井　私たち主婦は、どうしても家の中にとじこもりがちですが、大変社会勉強になったと思っています。施設見学をしてからは、ゴミの分別に気を配り、竹串や陶器の割れものなどの処理に気をつけるようになりました。

國重　広報や議会だよりをすみずみまで目を通すようになりました。施設見学など、機会があれば行きたいと思っておられる方は多いと思います。もっと参加しやすい場づくりを考えていったらどうでしょうか。

市民ニーズが作りだした デイ・サービスセンター

――市政モニターの自主活動として、グループをつくって関心のある問題について話しあっていただきました。今日お越しのみなさんご自身は、どのような問題に関心がおありですか。

松田　やはり高齢化社会の対応の問題ですね。デイ・サービスセンターも新しく出来ますので、お年寄りの方との交流など、私たち主婦のできるボランティアがあれば、できるだけ参加していきたいと思っています。

市長　平均寿命がのび、出生率が低下したということで、高齢化社会に突入しています。市では、きめ細かい対応をしていくため、4月からデイ・サービスセンターを開設します。体の弱いお年寄りに必要なサービスを行い、心身機能の向上をはかるもので、移動入浴車の利用などと合わせて、在宅福祉の充実を図ってまいります。また、お年寄りの社会参加のために、シルバー人材センターを昭和六十四年四月にオープンしたいと考えております。お年寄りに健康で生きがいのある日々を送っていただける地域社会をめざして、市民と行政とが一体となって、事業を進めてまいりたいと考えております。

松田　お年寄りの庭のそうじや身のまわりの整理など主婦のボランティアに頼めば、お互いにいい関係で、いろんな経験ができるのではないかしら。

自然と調和のとれた まちづくりが基本

――「くらしの周辺」を考えるグループでは、緑化問題に取り組まれ、行動するモニターとして、公園の花だんづくりをしていただきましたね。

酒井　はい。きれいな花が咲きました。私の家でも、主人が植木が好きで、菊やさつきをたくさん作っています。家のまわりも道路も花や緑でいっぱいにしたいですね。

市長　自然と調和のとれたまちづくりには、緑を増やすことはもちろん、今ある緑をも保全しなければなりません。力を入れたいのは西ノ岡丘陵地帯です。竹林と点在する池をとり入れたレクリエーションの場を作り、散策路も作りたいと考えています。

松田　緑を増やすことも大切ですが、桜の並木の保全など、古き良きものを残していく方向にも力を入れていただきたいですね。

市長　今年度から、西向日の「桜の径」の整備を手がけています。

コミセンを 地域活動の拠点に

國重　私たち「教育文化グループ」では、生涯教育の場として、公民館がもっと身近になるよう、市民が利用しやすい方法などを考え提言としてまとめました。

私は、育友会に関わっていて、子どもの教育に関心がありますが、子どもたちが、向日市を自分たちのふるさとだと誇れるまちにするためには、おとながつくる社会を見直していく必要があると思うのです。図書館や資料館ができて、文化面ではすばらしいですね。

体育館も立派なものができましたが、子どもたちの体力づくりには、運動公園のような開放されているグラウンドがあればいいと思います。

ブランコやすべり台があって、幼児が遊ぶ公園ばかりではなく、もっと緑があって、おとなも楽しめる公園があってもいいのではないかしら。例えば、西ノ岡の竹林一帯を散策できる公園に指定し、市民みんなで、整備・維持していけばいいと思います。

市長　地域住民の生活文化の向上とコミュニティ施策の充実を図るため、各地域に公民館を建て、人口の少ない向日、西向日については、コミセンを建設いたしました。区の事務所も入っていただき、自治振興の場としても使っていいだいて おります。また、寺戸町や上植野町のような地域の広いところにはコミセンも必要だということで、寺戸コミセンを建設し、今年4月には、上植野コミセンがオープンします。

おっしゃるように、公民館、コミセンを多くの人に活用してもらえるよう、使用の基準について、検討をしているところです。

つぎに、西ノ岡丘陵の整備ですが、これについては、まず青写真をつくり、地域住民の方々にご理解をいただいて、進めてまいりたいと考えております。

水のおいしい向日市に 住み続けたい

――向日市の全体像についてお話をしていただきたいと思います。

松田　私は、姫路、岡山、米子といろんな土地に住みましたが、田舎が好きで、向日市も、ちょっと足をのばせば緑や田んぼがあり、気に入っています。今のままのよさをそのまま残してほしいと思います。

酒井　私は、このまちから出たことがないので、比べようがありませんが、向日市は、ずっと住んでいたいまちですね。

松田　水がおいしくて、災害がないというのは、住むのに最適の条件ですね。それだけに大事にしたい。それこそ、モニター精神を発揮したいと思います。

國重　何が一番いいといわれると、やはり水がおいしいことですね。飲料水としての地下水を大切にしていきたいです。

市長　向日市の水は本当においしいですね。どうしたらおいしい水を保全できるか、近く、水資源対策審議会を開催し、地下水の保全に取り組んでもらいます。しかし、地下水の水位が低下していることは事実です。将来に備えて、日吉ダム建設に伴う水の権利を今もらっておかなければいけないわけです。こうした問題についても、同時に取り組んでいます。

酒井 信子さん
（くらしの周辺グループ）
緑の豊かな公園や街路樹のある"町並み"はいいですね。

募集しています 市政モニター

―あなたの意見を市政に―

市政モニターは、市民生活に直結した市政を進めるための、行政と市民のパイプ役です。市では、意見や提案を市民の声として、市政に反映させていくため、市政モニターを募集しています。

■モニターの内容■　(1)市政全般にわたる意見・要望・地域の話題などの提供　(2)アンケート調査の回答　(3)モニター懇談会・研修会（年4回程度）への参加　(4)公共施設などの見学会への参加

■応募資格■　満20歳以上の向日市民で、市政に積極的な提言をする意欲のある人。性別、職業は問いません。ただし、現在向日市市政モニターの人や公務員は除きます。

■任期■　昭和63年4月1日～65年3月31日

■募集人員■　30人　**■募集期間■**　3月15日まで

■申込方法■　申込用紙に住所、氏名、年齢、職業および応募の理由、市政のどのような部分に関心があるかなどを記入し、秘書広報課広報係へ提出してください。

■決定■　応募者多数の場合は、地域、年齢、性別などの構成を考えて決定します。

■お問い合わせ■　秘書広報課広報係　内線251